

議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1419 2017年 8月27日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は 9月21(木)です

午後4時～6時 (要予約)

平塚市議会9月定例会の日程について

平塚市議会9月定例会の日程が以下のように決定しましたのでお知らせいたします。ぜひ傍聴においでください。尚、議員団の質問日及び質問内容等については現在未定です。決まり次第お知らせします。

月日	曜日	会議予定
8月25日	金	本会議初日(平成28年度決算認定について及び市長提案案件説明) 本会議終了後、議会運営委員会
9月5日	火	本会議第2日(総括質問①) ※請願締め切り
6日	水	本会議第3日(総括質問②)
7日	木	本会議第4日(総括質問③) 本会議終了後、議会運営委員会
8日	金	本会議第5日(総括質問④)
12日	火	総務経済常任委員会 都市建設常任委員会
13日	水	教育民政常任委員会 環境厚生常任委員会
20日	火	議会運営委員会 本会議最終日(委員長報告、討論、表決) 本会議終了後、議会報編集委員会
9月26日 ～28日	火～ 木	決算特別委員会(平成28年度決算討議) 29日(金)は予備日

※請願を提出される団体・個人の方は9月5日午後5時までに市庁舎8階の議会事務局まで。また、請願の委員会趣旨説明を希望する団体は提出時に申し入れをしてください。

平塚市議会9月定例会提出議案 (一部抜粋)

認第1号及び第2号・第3号

平成28年度平塚市一般会計・特別会計決算並びに平成28年度平塚市病院事業決算・平成28年度下水道事業決算の認定について

9月26日～29日に開催予定の決算特別委員会で集中審議が行われ、市議会12月定例会初日に採択されます。

議案第62号 公示請負契約の締結について〔旧環境事業センター煙突解体工事〕

工事請負金額；291,276,000円

契約の相手方；(株)鴻池組横浜支店

議案第63号 工事請負変更契約の締結について〔平塚市庁舎・平塚税務署新築工事(庁舎棟・建築)〕

請負金額変更前；8,843,198,370円

請負金額変更後；8,863,885,770円

増加額；20,687,400円

契約相手；竹中・成瀬特定建設工事共同企業体

議案第64号 工事請負変更契約の締結について〔平塚市庁舎・平塚税務署新築工事(庁舎棟・電気)〕

請負金額変更前；1,416,739,290円

請負金額変更後；1,444,943,490円

増加額；28,204,200円

契約相手；栗原工業株式会社横浜支店

議案第65号 物品購入契約の締結について〔庁舎棟(2期)什器購入(デスク・ワゴン)〕

契約金額；29,700,000円

契約相手；有限会社扇矢

議案第65号 物品購入契約の締結について〔庁舎棟(2期)什器購入(収納)〕

契約金額；33,372,000円

契約相手；(株)田中紙店外商部日誠

議案第67号 市道路線の廃止について

議案第68号 粗鋼路線の認定について

議案第69号 平塚市一般会計補正予算
議案第70号～第72号 平塚市国民健康保険事業・介護保険事業特別会計補正予算及び平塚市民病院事業会計補正予算

○感震ブレーカー設置推進に381万6千円
○児童・生徒の新入学用品費の増額及び支給時期変更(新入学前支給の実施)に2,422万9千円 など

各会計補正額

一般会計 206,202千円

国民健康保険事業 0円(増減同額のため)

介護保険事業 41,162千円

病院事業 280,000千円

補正額；527,364千円 補正後の全会計

累計額；2,044億5,093万3千円

市役所多目的ホールで 昼休みミニコンサート

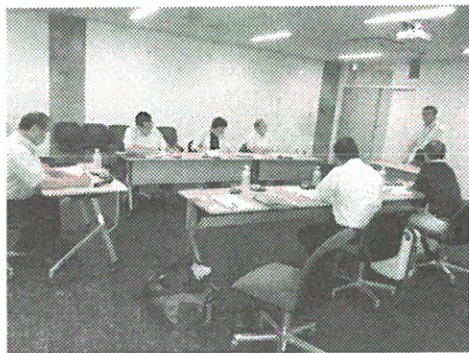


8月17日(木)の市役所で、昼休みミニコンサートが開催されました。

平塚市小鍋島を拠点に音楽活動をしている、椎名友樹さんの奏でるマリンバの音色に、多くの市民が聞き惚れていました。

常任委員会行政視察報告から

7月19日・20日 福島県喜多方市・栃木県佐野市
教育民生常任委員会; 高山和義議員



喜多方市にて; 担当職員から説明を受ける視察団

【福島県喜多方市】

○「喜多方市小学校農業科」の取り組み

視察項目の「小学校農業科」の取り組みは、平成18年に国の構造改革特別区域として小学校教育特区の認定を受けて開始されました。その後、実施校を拡大する中で、平成21年からは学習指導要領の改定に伴い、「総合的な学習の時間」での実施が可能となり、平成23年には市内17小学校全てで農業科の取り組みが行われるようになり現在に至っています。

喜多方市でも、農業専任従事者は3割を切っているのが現実であり、農業を知らない児童が増えているとのことでした。当時の市長が「農業を活かした取組・施策を」と、農業学習体験を通して食の在り方や命や環境を大切にすることを地域と学校が一緒になった取組として、積極的に推進したことが大きかったと感じました。

全小学校ごとに地域の農業支援者が2・3名～10名程度確保できているとのこと、この農業支援者の存在が大変大きいと感じました。農業従事者が今後減少することが予想される中で、今後とも全小学校に対

応できる体制を確保できるかが課題になってくると思います。

「総合的な学習の時間」の年間35時間を活用しています。担当の職員からは、「英語学習や道徳の必須化によって、高学年では農業科の取り組みが困難になる可能性が出てきた」との話がありました。年間の総時間数をどのように配分して聞くのか、その中で農業科の取り組みをどう継続していくのか。また、中学校では取り組まれていることと合せて、今後の課題ではないでしょうか。

コメ作りを中心に年間を通じて「いのちを大切にする」農業科が取り組まれた結果、平成18年からいじめの発生件数が大きく減少し、現在は年間3～4件に減少しているとのことでした。

平塚市でも、総合的な学習の時間を使って、各小学校で特徴ある取組が行われています。喜多方市のように農業に特化した取り組みを進めることは、おかれた地域環境などからも困難であるといえます。命とどう向き合っていくのかという参考としては大変考えさせられる視察でした。

【栃木県佐野市】

○学力向上に向けた取り組みについて

佐野市では、文部科学省「全国学力・学習状況調査」、栃木県「とちぎっ子学習状況調査」、「佐野市総合学力調査」の3つの学力調査を実施する中で、弱いところ、問題があるところを小学校ごとに明らかにし、教育指導員や学力向上アドバイザーが、



観光案内所にて; ゆるきゃらのさのまる

指導改善を行うことで学力向上に向けた取り組みを進めています。

市内全体で小学校27校、中学校10校があり、生徒数は20人～800人超まで地域差が大きいとのことでした。

3つの学力調査を踏まえた学校支援の視点として、学力向上のための「一校一改革・一挑戦」の取り組みを進めているとのこと。学校ごとに取組内容・授業の進め方・家庭での取組・学習環境の改善策・具体的支援の在り方などを決めて、その結果を翌年の学力調査に反映したか検証する取り組みがされています。

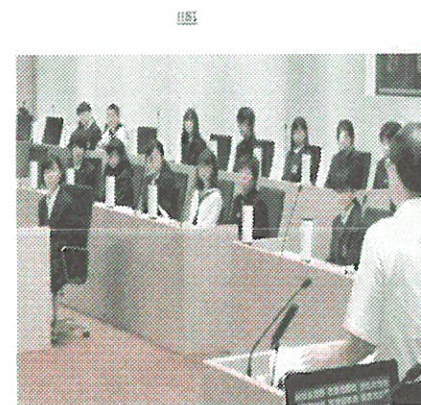
教育指導員は市で60人を採用し、学力向上アドバイザーは全校で10人が年5回程度訪問し3年で全校に指導に入るとのこと。

「一校一改革・一挑戦」の考えは推進すべきものと考えられますが、学力向上のためという前置きに違和感を覚えます。質問でも、「学習についていけない子どもたちをどう教えていくのか」お聞きしましたが、グループ学習などで教え合うということ、明確な取り組みは示されませんでした。学校として学力を向上させることと、個々の子どもの学力を向上させることがどうつながっていくのかはよく理解できませんでした。また、放課後の教材研究タイムの設定など更なる労働荷重につながる可能性もあり、一概に賛成できない部分もあった視察となりました。



佐野厄除け大師
以外にこじんまりとした境内でした

スクール議会が開催され、高校生から積極的提言が



議会委員長(右)の答弁を聴く高校生=平塚市役所

8月7日(月)に、「スクール議会」が開催されました。傍聴席には、私たち議員団を始め多くの市議員や保護者・学校関係者で平塚議会始まって以来ともいえる傍聴者が見守っていました。

高校生28人が、①湘南ひらつか七夕まつり②オリンピック・パラリンピックのリトアニアキャンプ地③中心商店街の魅力アップの3つのテーマで委員会に分かれ、事前の調査も行って議会に臨みました。

質問では、七夕飾り製作者が高齢化している現状での対策や商店街の情報が若者に知らされていない現状などが出されました。さらに、自分たち学生が

主体で七夕まつりを作り上げる、また、工業・商業・農業など専門分野の高校もある、若者 SNS アドバイザー派遣で広報力を高めるなどの積極的な提言がありました。1回で終わらずに、提言の実現を図るとともに継続した取り組みが期待されます。